



**わくわく トライ 大口台 2020**

校長 田川 斉史

**新年明けまして、おめでとうございます**

今年はずみ年



大晦日、年が明けると近くの船から一斉に汽笛が響きます。我が家の近くの港からの汽笛です。横浜港のようにおしゃれでも華やかでもないのですが、地面を震わせるような「ポー」という低音が一斉に…。



寒い風に身をすくめながら、「ポー」をしばしポーっと聞き、静かな空気の流れと「平和」を強く感じました。凜とした空気を頬に感じる、そんな寒さの厳しい中で令和最初のお正月を迎えました。

穏やかな佳き年をご家族お揃いでお迎えのことと存じます。みなさまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、今年も本校教育活動へのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

**❖ 「目」 子どもを見守る 見つめる**

毎日のように学校ホームページ「学校日記」が更新されています。(パソコンだけではなくスマートフォンからもご覧いただけます。) 多くは副校長が写真を撮影し文を記していますが、時には各学年の担任や専科教諭の文章もあります。担任として見る「目」、教科担当として見る「目」、副校長として見る「目」…、不思議と見る「目」によって文章の味付けが異なります。学校の中だけでもたくさんの「目」があると同じようにまちのみなさんの「目」、そして何よりご家庭での「目」の大切さを感じます。たくさんの**しっかり見る「目」**をこれからもよろしくお願いします。

**♠ 「奏」 校内音楽会~合唱部**

**♪君が大人になってくその季節が悲しい歌で溢れないように♪**

漢字で「三人」「二人」と書くと「奏(そう かなでる)」の字になります。一人じゃない、三人、二人の力を合わせてすてきな音を「奏でる」、そんな素晴らしい意味があるのではないかと思います。

ご要望が多かった「校内音楽会」の**土曜日開催**を実施してみました。概ねご好評をいただいたようです。こまかな改善は来年度に引き継いでまいります。当日は体育館が子どもたちの歌声とリコーダーやたくさんの楽器の音色で、すてきな音楽ホールになりました。音楽があふれ、夢のような世界に…。



**♪自分が歌ったり演奏したりして楽しむことも音楽** **♪耳を澄ましてすばらしい演奏を聴いて楽しむことも音楽**

**♪音を楽しむと書いて音楽** 世界どこへ行っても心が通い合える音楽を大切に、そして楽しんでほしいものです。

例年のように、**合唱部**がまちに飛び出していました。大口通商店街「街角クリスマスコンサート」、大口七島連合町内会「年忘れお楽しみ会」では透き通った歌声を響かせ、大きな温かな拍手をいただきました。

**♥ 「想」 12月「人権週間」**

人権週間の朝会に、盲特別支援学校の福島副校長先生に盲学校のこと、パラスポーツ「ブラインド卓球」のこと、視覚障害の方との接し方のことなどのお話をいただきました。「心のバリアフリーはあいさつから」そんな素敵なキーワードをいただき、子ども一人ひとりの心の中にしっかりと**「やさしい心とやさしい行動」の種**を蒔いていただきました。子どもたちを育て、支え、花咲かせ、実らせていく…。この時だけのものにしないように…。